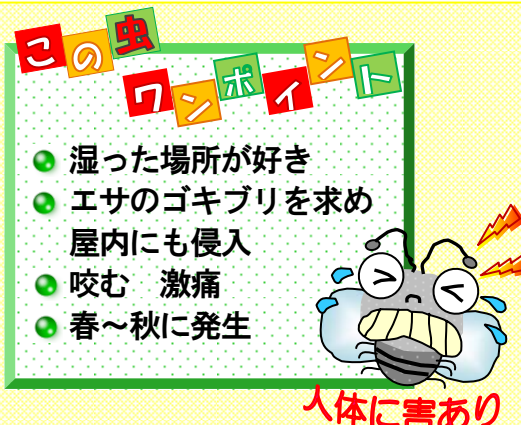


ムカデ

屋外の落ち葉の下や石垣の下などに生息していますが、ゴキブリなどのえさを求めて屋内へ侵入し、驚かされます。咬まれると激痛が走り、腫れあがります。



瓦れきの下にいたトビズムカデ(宮前区菅生・7月)



● 形態

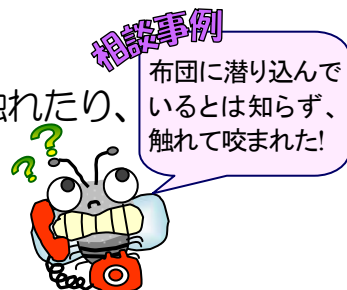
- 体長は2～3 cmのものから15 cm位までの種類があり、体色も、褐色など様々です。
- 体型は細長く、ヤスデに似ていますが、体の各節から脚が1対ずつ出ています（ヤスデは2対）。頭部には毒をだす顎（あご）があります。

● 生態

- 夜行性で、昼間は屋外の草むらや落ち葉の下、石垣の間など暗くて湿った所に潜んでいます。昆虫やゴキブリを襲って食べています。エサを求めて屋内にも侵入してきます。
- 5～8月頃が産卵期で、活動が活発になります。

● 被害

- 自分から人を襲うことはないが、ムカデがいることに気付かず触れたり、刺激したりすると、防御のために瞬時に咬みつきます。
- 咬まれるとしびれを伴う激痛で、患部は赤く腫れあがります。



● 咬まれたら

- 流水などで患部を冷やしながらか毒を絞り出します。そして、抗ヒスタミン剤含有のステロイド軟膏を塗り、腫れがひどければ水で湿布します。
- 必要に応じて医療機関を受診しましょう。

● 駆除するには

- 床下や家の周りにカーバメイト系殺虫剤や有機リン系殺虫剤の粉剤を帯状に散布し、屋内への侵入を防ぎます。
- 直接駆除する場合は、スプレー式殺虫剤を噴霧します。殺虫処理後すぐは、暴れて咬まれる可能性があるため注意が必要です。

● 発生を予防するには

- 家の周りの雑草を刈り取る、落ち葉を捨てる、廃材など不要な物を処理するなどの清掃を行い、日当たりをよくします。